

1 研究主題

子どもたちが生き生きと活動する総合的な学習の時間の創造

2 はじめに

「総合的な学習の時間」は新学習指導要領全面実施に先立ち、平成30年度から移行措置として先行指導が始まっている。また、令和2年4月より各教科を始めとする学校全体の教育活動を通して「キャリアパスポート」の運用が始まった。改訂によって、総合的な学習でも他の教科と同様に「育成すべき資質や能力及び態度」が明確に規定された。例えば、探究のプロセスとして「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」という能力を身に付けることである。そして、その資質や能力を育てるにあたり、小・中学校においても、地域の素材を活用しながら育成することが大切であると言われている。

小牧市内の各小中学校においても、今日までそれぞれの地域性を生かした「総合的な学習の時間」をカリキュラム化し、学習活動を展開してきた。本研究会では、研究主題にもある「子どもたちが生き生きと活動」できるよう、①どのように自ら課題を持たせるか、②課題を解決するために情報をどのように集めさせるか、③整理・分析をどのようにすると良いか、④整理したことを、どのようにまとめ表現するか、などについて、各校の取り組みを、実践報告を持ち寄り、研究した。

3 研究経過

小学校部会・中学校部会に分かれて研究を行っている。各部会の中で、月ごとに検討するテーマを設定し、各校での取り組みや成果、課題などの意見交換を行った。意見交換の際、実際に使用した指導案や提案文書、子どもに配布した資料を持ち寄るようにした。また、持ち寄った資料は、データでも共有できるよう、交換箱内にフォルダを作り、蓄積できるようにした。

4 研究の概要

(1) 小学校部会

小学校部会では、各校の実践報告・情報交換を中心に行った。各校の実践報告では、地域の特色を十分に吟味したうえで、児童が意欲的に活動に取り組む様子が報告された。また、活動をより充実させるために、各校周辺の地域の方々に協力を依頼し、活動をより充実させようと努力している各校の現状を詳しく知ることができた。さらに、自分の担当学年だけでは

なく、学校全体での実践報告を行うことで、学年間のつながりだけでなく、発達段階に応じて学ばせるべきことは何であるのかを話し合った。そして、その実践後のまとめさせ方や、評価の方法を話し合うことで、より「ねらい」に迫れる課題はなかったのか、子どもたちの実態に沿った手立てはどのようなものがあったかなどを、意見交換をした。

(2) 中学校部会

例年「職業人体験学習」についての情報共有、意見交換を中心に研究を行っている。しかしコロナ禍により、昨年度に引き続き、今年度も今まで通りの学習を行うことができなかったため、各校ごとに職業人体験学習をベースに新たな手立てを考え、実践を積み重ねてきた。今年度の中学校部会では、この新たな実践の報告や、実践したからこそ見えた利点・改善点の報告など、どうすれば生徒が「主体的に学びたい」という学習になるかを話し合った。また、「職業人体験学習」以外にも、生徒の勤労観や職業観を高める有効な手立てはないか、考えを出し合った。

4 成果と今後の課題

(1) 小学校部会

学校や学年、地域の特色を生かした取り組みをすることで、子どもたちは自分たちの生活に身近なことだと捉え、意欲的に活動に臨むことへとつながったと言える。まとめる際にパソコン等を活用すると、当初は能力差が生じてしまうことが課題となったが、タブレットが一人一台配付されたことで、操作に慣れ、まとめ方の能力差が少しは埋められたと感じた。さらに、他校の実践報告から得たものを、自分の学校に持ち帰り、指導に生かしていくことができた。これからも児童の「生きる力」を育むためにどのように取り組むとよいのかを検討していきたい。

(2) 中学校部会

どの学校の実践も、「職業人体験学習」同様大きな意義がある活動であると感じた。職業人の本音を聞いたり、少しだけ体験したりすることで、生徒は「働く」ということを深く考えたのではないか。また、職業講話を行った学校では、短い時間でも、人として大事にしたいことを語っていただいたり、職業人のありのままの姿を見せてくれたりしたことも、生徒にとっては大変意義があったのではないかと報告もみられた。また、職業人体験学習ができないからこそ、独自の実践を行った学校もあった。例えば、今現在の世の中の情勢を知るという目的から、海外で活躍するN G O 法人に、オンラインでインタビューを行うという実践である。

職業人体験学習における課題としては、生徒にとってより有効な学びを保障するために、多種多様な事業所の確保を行いたい。また、独自の実践など、各校が持っている情報を本研究会内で共有しながら、生徒がより生き生きと活動し、職業観を高められる手立てを皆で考えていきたい。